

第1回

「山梨サイクルネット構想(富士北麓地域)」

検討委員会

(参考資料)

目 次

1. 準備会での主な意見と対応	2
2. モデルコース抽出の結果整理	4
3. 現地調査の結果整理	14
4. その他	
(1) 富士五湖サイクリングガイド	23
(2) 世界文化遺産富士山の構成資産について	29
(3) 山中湖周辺の大規模自転車道の整備状況	30
(4) モデルコースの管理者区分	31
(5) 自転車走行空間の整備形態について	32
(6) 自転車通行ルールについて	39
5. ナショナルサイクルルート認定について	42

1.準備会での主な意見と対応

1. 準備会での主な意見と対応

(1) 準備会での主な意見と対応

- 検討委員会開催前に、準備会は(平成27年2月、平成27年10月)2回開催した。
- 準備会で頂いた意見と今後の対応は下記に示す。それらを踏まえ、今後の検討を行うこととする。

▼第1回(平成27年2月)準備会での主な意見と今後の対応

第1回準備会での主な意見	今後の対応
サイクルネット構想は、ハード・ソフト両面の推進を図るとのことであるが、ハード整備においては、新設整備のみか、それども既設の補修なども含めて考えているのか。	予算面では、大規模な新設整備は難しいと考えており、既設の補修等を主に行うと考えている。また、補修は、優先度を検討して行う。
自転車ユーザーのレベルはどう考えているのか。	ソフト・ミドル・ハードといったそれぞれの段階に応じて、構想を検討する。
検討委員会のメンバーは、どの様に考えているか	頂いた意見を参考に、検討委員会メンバーを検討する。
ターゲットをインバウンドを考慮した場合、公共交通機関からの観光が主となる。そのため、当地域では鉄道・バス事業者である富士急行を構想策定にどの様に参画してもらうかが課題。	そのような事業を構想に取り込みたいと思い、検討を行う。
将来的には、交通事業者を巻き込み自転車施策が推進できればと思う(自転車をバスに積んで運行することやサイクルタクシー等を想定する)	
富士河口町では、河口湖から本栖湖それぞれ4箇所の拠点を作り、乗り捨て可能なレンタサイクル事業を行う計画が今月(H27.2)から具体的な検討を行うところ。	

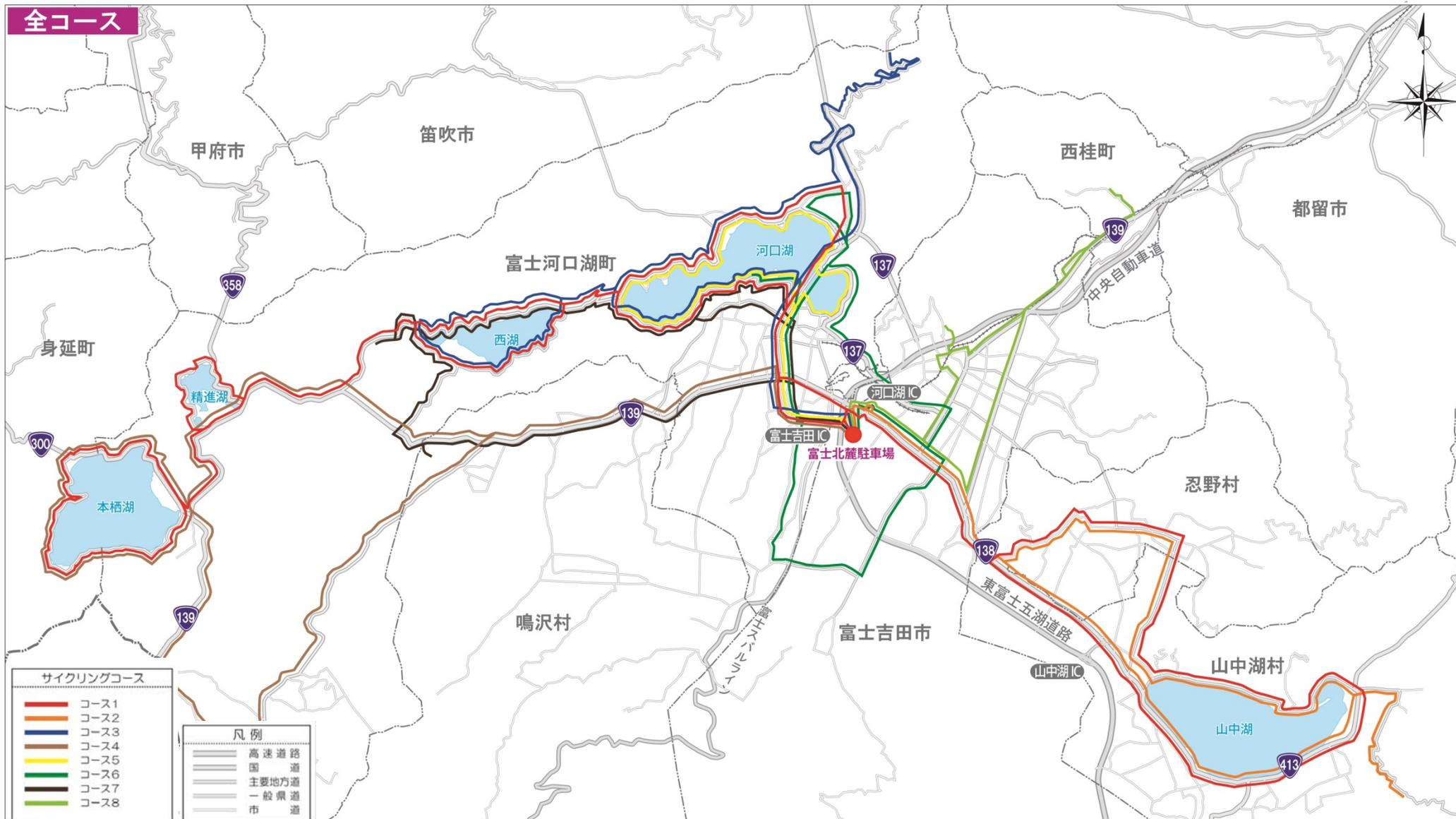
▼第2回(平成27年10月)準備会での主な意見と今後の対応

第2回準備会での主な意見	今後の対応
中級者ルートの忍野村内は道路状況が厳しいためルート再検討等必要ではないか。	モデルコースは既存の8ルートから現地状況を考慮し選定したものであり、コースの安全性を向上させるため、今回事業を行う予定である。検討委員会において、ルートを変えるべきとの意見を受ければ対応が必要と考えている
案内標識の設置において環境省と協議が必要と記述しているが、各市町村における景観条例等の屋外広告の協議も必要と記載すべき。	委員会資料に記載する。
ルートを推奨し、その道路で事故が発生した場合、推奨した道路管理者が裁判で訴えられるリスクがあるのではないか。	ルートを推奨する上で、自己責任において対応してもらうのが前提であり、先進県においてガイドマップ等にその様な記載もある。今後、本県においてもその様な対応と考えている。
現在、富士河口湖町において、レンタサイクルの主なユーザーは外国人である。また、国内においても自転車走行ルールを正しく理解していない方もいるため、走行時の安全を確保するという観点から、まず、自転車の走行ルールの周知が重要だと考えられるので、それに関連する対策の検討を願いたい。	外国人向けに「日本における交通安全ガイド」を警察庁ホームページに掲載し、県警ホームページにもある。これらの周知について検討する。
他県の事例が紹介されているが、県内の取組事例、例えば、河口湖駅付近のコンビニではサイクルラックが既に設置されている等身近な事例を紹介した方が、イメージが湧きやすい。	県内に既に実施している事例を検討委員会資料に追加する。
今後の整備に当たっては、県からの支援があるか	現段階では、国、県、各市町村それぞれ段階的に整備していただければと考えている。
今後、対策の実施期間及び体制はどのように考えているか。	今年度内に構想を策定し、自転車利用環境を向上させる整備のルールを確定する。構想を策定後、自転車利用者や既に事業を展開している民間事業者等の意見を収集しながら、段階的にハード整備、観光促進施策を実施したいと考えている。

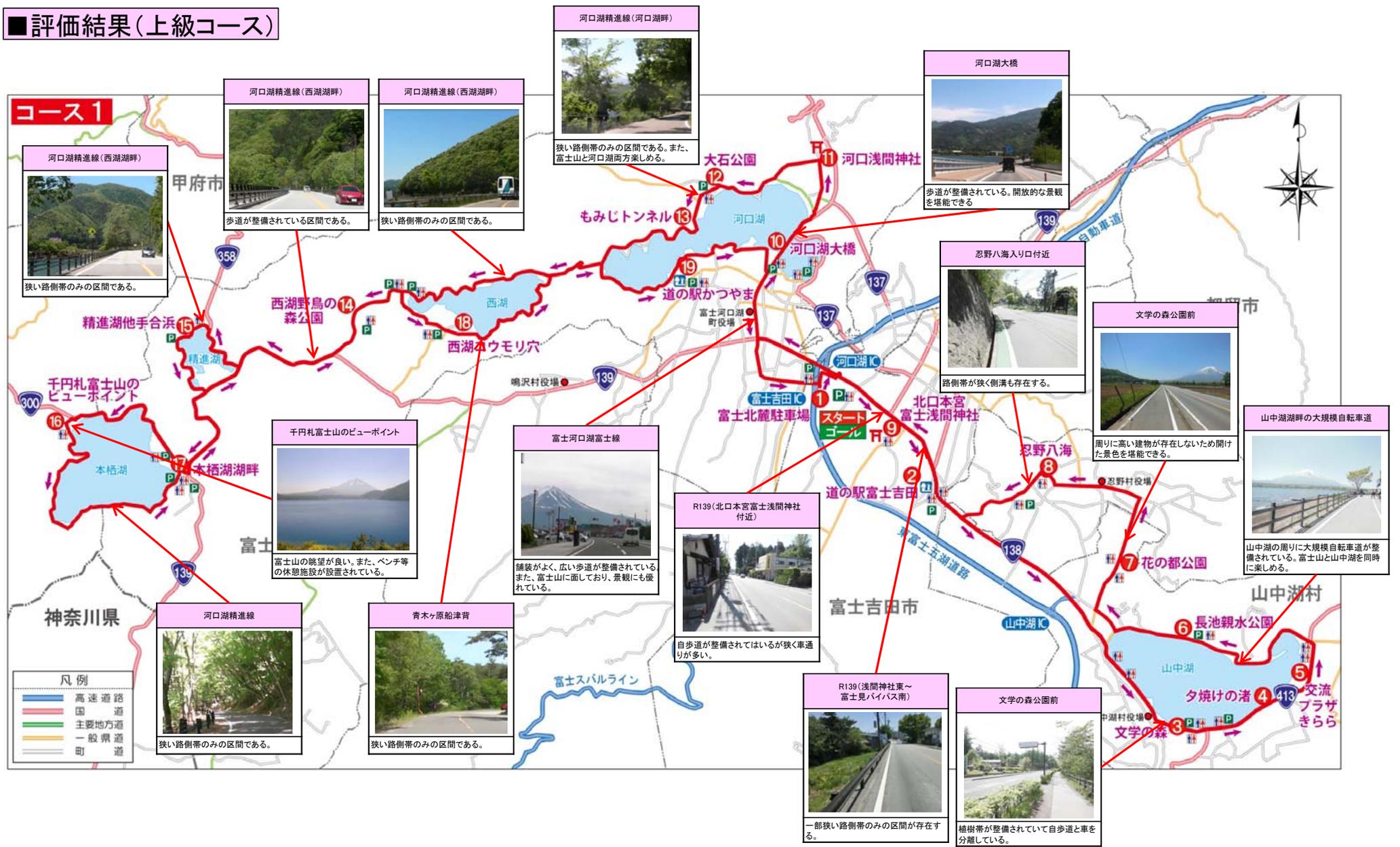
2.モデルコース抽出の結果整理

2. モデルコース抽出の結果整理

■ 富士北麓地域の既存のサイクリングコース(8コース)



■評価結果(上級コース)



抽出項目① (適切な走行距離・標高差)			抽出項目② (走りやすさ)			抽出項目③ (分かり易い案内誘導の有無)		抽出項目④ (観光資源)		抽出項目⑤ (走行時景観)		得点
走行距離	標高差	評価	自転車走行空間	交通環境	評価	分かり易い案内誘導の有無	評価	コース上世界文化遺産 富士山の構成資産数	評価	走行時景観	評価	
約110km	約720m	◎	山中湖湖畔や忍野村内には、大規模自転車道が整備されている。他の湖畔では、基本路側帯の走行となっている。	国道139号及び国道138号は自動車交通量が多く、路側帯走行時の錯綜が予想される。	○	なし	×	9箇所	◎	富士五湖を周遊するコースのため、変化のある富士五湖の風景を堪能できる。また、富士山の眺望の良い箇所も多数存在する。	◎	11

コース3



抽出項目① (適切な走行距離・標高差)			抽出項目② (走りやすさ)			抽出項目③ (分かり易い案内誘導の有無)		抽出項目④ (観光資源)		抽出項目⑤ (走行時景観)		得点
走行距離	標高差	評価	自転車走行空間	交通環境	評価	分かり易い案内誘導の有無	評価	コース上世界文化遺産 富士山の構成資産数	評価	走行時景観	評価	
約59km	約534m	○	河口湖町市街や湖畔の一部を除き、路側帯走行となる。また御坂峠みちは急勾配・急カーブが続く峠道となっている。	富士河口湖富士線が国道137号にかけては自動車交通量が多く、路側帯走行時には錯綜が予想される。	◎	なし	×	4箇所	○	湖畔回りの北側は湖面と富士山を望み景観が良い。御坂峠みちは、ピークの天下茶屋からの眺望が非常に良い。	○	9

千円札富士山のビューポイント



富士山の眺望が良い。また、ベンチ等の休憩施設が設置されている。

コース4

R300



狭い路側帯のみの区間である。

千円札富士山のビューポイント

千円札富士山のビューポイント

R139



歩道整備済み区間である。

R139



歩道整備済み区間である。

町道



狭い路側帯のみの区間である。
富士山の眺望が良い。

富士宮鳴沢線



狭い路側帯のみの区間である。

R139



歩道整備済み区間である。

町道



歩道整備済み区間である。

- 凡例
- 高速道路
 - 国道
 - 主要地方道
 - 一般県道
 - 町道

抽出項目① (適切な走行距離・標高差)			抽出項目② (走りやすさ)			抽出項目③ (分かり易い案内誘導の有無)		抽出項目④ (観光資源)		抽出項目⑤ (走行時景観)		得点
走行距離	標高差	評価	自転車走行空間	交通環境	評価	分かり易い案内誘導の有無	評価	コース上世界文化遺産富士山の構成資産数	評価	走行時景観	評価	
約60km	約579m	○	ルートの半分近くを構成する国道139号は自歩道等整備区間であり、それ以外は路側帯走行となる。比較的緩やかながらも、全般的にアップダウンを伴うコースとなる。	国道139号は自動車交通量が多く、路側帯走行時には錯綜が予想される。	○	なし	×	1箇所	△	コース中盤の本栖湖周遊や富士ヶ嶺高原へ向かう町道では、富士山を望み眺望が良い。一方、国道走行区間が長い為、風景の変化が少ない。	○	7

■評価結果(中級コース)



抽出項目① (適切な走行距離・標高差)			抽出項目② (走りやすさ)			抽出項目③ (分かり易い案内誘導の有無)		抽出項目④ (観光資源)		抽出項目⑤ (走行時景観)		得点
走行距離	標高差	評価	自転車走行空間	交通環境	評価	分かり易い案内誘導の有無	評価	コース上世界文化遺産富士山の構成資産数	評価	走行時景観	評価	
約48km	約423m	◎	山中湖湖畔や忍野村内には、大規模自転車道が整備されている。また、歩道の整備がある区間が多い。	国道138号の自動車交通量が多く、路側帯走行時の錯綜が予想される。また、コース前半の道の駅富士吉田までの歩道部分は、ひび割れ等が見られた。	◎	なし	×	3箇所	○	忍野八海周辺の自然や富士山や山中湖を堪能できる。山中湖湖畔の大規模自転車道などに走行環境の変化がある。	◎	11



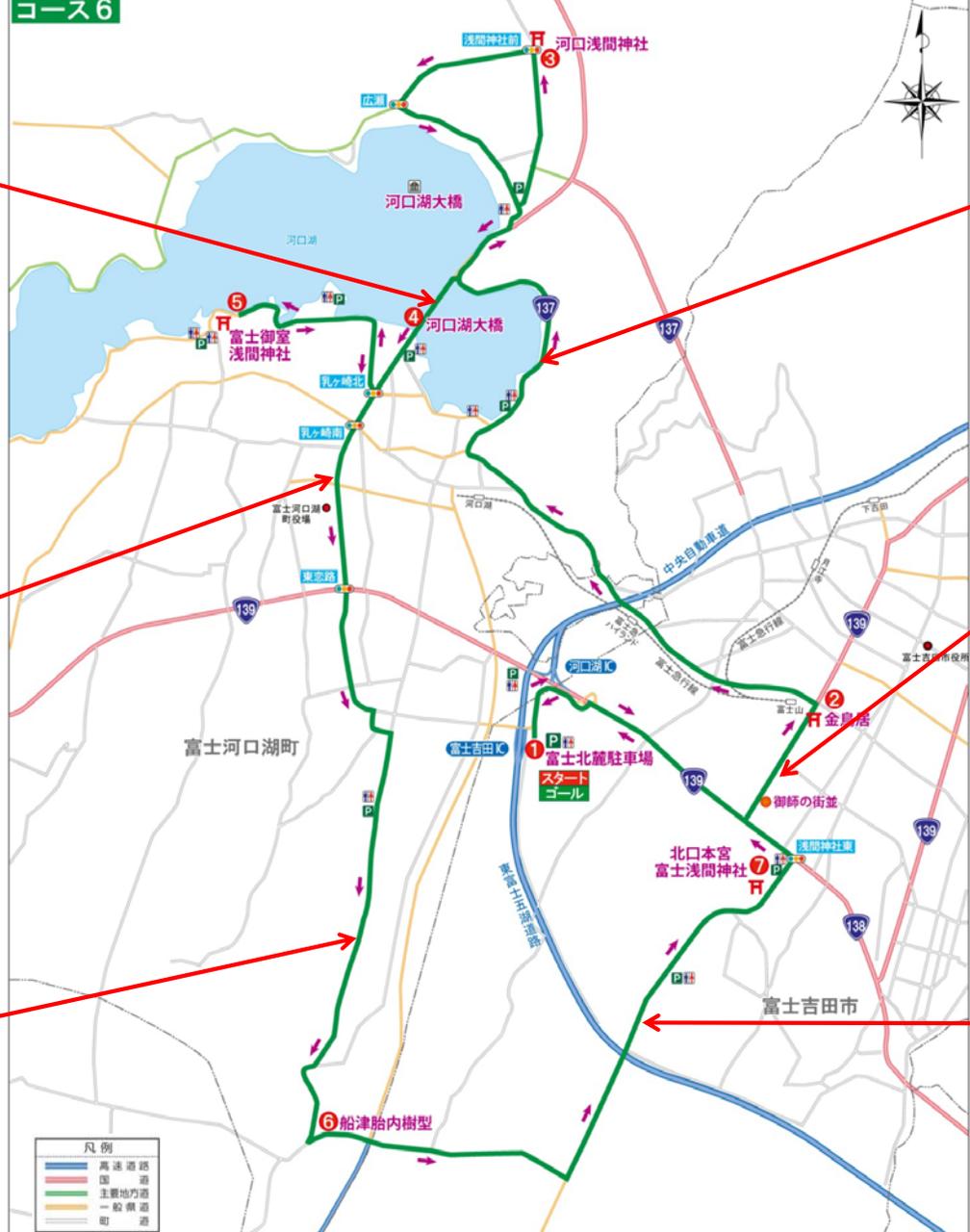
歩道が整備されている。また、富士山と河口湖を同時に楽しめる。



広い歩道が整備されている。また、富士山を面しており、景観に優れている。



登山道であり、車と車道を共有している。



山口湖湖畔で、歩道が整備されている。



御師の手街並の区間である。広い歩道が整備されている。



下り坂である。歩道が整備されているが、路側帯に側溝が存在する。

抽出項目① (適切な走行距離・標高差)			抽出項目② (走りやすさ)			抽出項目③ (分かり易い案内誘導の有無)		抽出項目④ (観光資源)		抽出項目⑤ (走行時景観)		得点
走行距離	標高差	評価	自転車走行空間	交通環境	評価	分かり易い案内誘導の有無	評価	コース上世界文化遺産富士山の構成資産数	評価	走行時景観	評価	
約36km	約301m	◎	コースの前半は歩道が整備されている区間が多い。後半は路側帯のみの登山道となっている。	国道137号の自動車交通量が多く、路側帯走行時の錯綜が予想される。全体的に信号交差点の密度が高くなく、また、左折が多いため、スムーズに走行できる。	○	なし	×	6箇所	◎	御師の手街並、河口湖周辺、登山道等走行環境の変化がある	○	10



抽出項目① (適切な走行距離・標高差)			抽出項目② (走りやすさ)			抽出項目③ (分かり易い案内誘導の有無)		抽出項目④ (観光資源)		抽出項目⑤ (走行時景観)		得点
走行距離	標高差	評価	自転車走行空間	交通環境	評価	分かり易い案内誘導の有無	評価	コース上世界文化遺産富士山の構成資産数	評価	走行時景観	評価	
約27.4km	約337m	○	基本的に歩道走行であるが、国道139号では、一部狭い路側帯のみの区間が存在する。	国道139号(富士見バイパス北～西桂役場前)では、交通量が多く、大型車の通行も見かける。	○	なし	×	2箇所	△	国道を走行する区間が占める割合が高く、他のコースと比べ、景観の変化が少ない。	△	6

■評価結果(初級コース)

コース5

河口湖精進線(河口湖湖畔)



歩道整の整備がある

河口湖精進線(河口湖湖畔)



狭い路側帯のみの区間である。
富士山と河口湖両方楽しめる。

河口湖精進線(西湖湖畔)



狭い路側帯のみの区間である。

富士河口湖富士線



舗装がよく、広い歩道が整備されている。富士山に面しており、景観に優れている。

町道



歩道整備済み区間である。

河口湖精進線



歩道の整備がある。

河口湖湖畔



河口湖湖畔で、歩道が整備されている。



抽出項目① (適切な走行距離・標高差)			抽出項目② (走りやすさ)			抽出項目③ (分かり易い案内誘導の有無)		抽出項目④ (観光資源)		抽出項目⑤ (走行時景観)		得点
走行距離	標高差	評価	自転車走行空間	交通環境	評価	分かり易い案内誘導の有無	評価	コース上世界文化遺産富士山の構成資産数	評価	走行時景観	評価	
約26km	約93m	◎	出発地から河口湖湖畔まで、歩道が整備されている。河口湖湖畔では、歩道整備されている箇所と路側帯のみの箇所が両方存在している。	交通量の多い富士河口湖富士線では、歩道が整備されており、歩道走行と予想される初級者には安心して走行できる。	◎	なし	×	1箇所	○	河口湖周遊のコースのため、河口湖を堪能できる。また、富士河口湖富士線では、富士山の眺望が良い。	◎	11

コース7

河口湖精進線(西湖湖畔)



狭い路側帯のみの区間である。

青木ヶ原船津線



狭い路側帯のみの区間である。

鳴沢富士河口湖線



歩道が整備されている。



- 凡例
- 高速道路
 - 国道
 - 主要地方道
 - 一般県道
 - 町道

青木ヶ原船津線



狭い路側帯のみの区間である。

R139



歩道が整備されており、一部の区間では、フェンスが設置されている。

富士河口湖富士線



広い歩道が整備されている。また、富士山に面しており、景観に優れている。

抽出項目① (適切な走行距離・標高差)			抽出項目② (走りやすさ)			抽出項目③ (分かり易い案内誘導の有無)		抽出項目④ (観光資源)		抽出項目⑤ (走行時景観)		得点
走行距離	標高差	評価	自転車走行空間	交通環境	評価	分かり易い案内誘導の有無	評価	コース上世界文化遺産富士山の構成資産数	評価	走行時景観	評価	
約33km	約227m	○	河口湖と西湖湖畔では、路側帯の走行である。それ以外の区間では、歩道整備がある。	交通量の多い富士河口湖富士線では、歩道が整備されており、歩道走行と予想される初級者には安心して走行できる。	◎	なし	×	2箇所	◎	河口湖、西湖湖畔の眺望が良いが、国道を走行する区間も長く、比較的に景観の変化が少ない。	○	10